

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21116
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 文学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	文学・語学の世界 (広島の文学と映画)		
	学問分野	番号	名称
3. 担当教員	有元 伸子 文学研究科		
4. 開講学期	後期 週1コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 10 月 5 日 (木) ~ 平成 30 年 2 月 1 日 (木) ※10月31日(火)も同時刻開講、11月30日(木)を除く 16時20分 ~ 17時50分		
個別開講日	1回目 10/5	2回目 10/12	3回目 10/19
	4回目 10/26	5回目 10/31	6回目 11/2
	7回目 11/9	8回目 11/16	9回目 12/7
	10回目 12/14	11回目 12/21	12回目 1/11
	13回目 1/18	14回目 1/25	15回目 2/1
	16回目 /		
6. 募集定員	10人 (総授業定員 100人)		
7. 科目内容・ 授業計画	広島出身の作家や広島を舞台とした文学や映画を検討することにより、文化表現と地域性・時代との関わりを考える。		
	1 はじめに 広島地域性と文学	9 映画・小津安二郎『東京物語』	
	2 漱石・子規・三重吉・鷗外	10 山代巴『荷車の歌』	
	3 田山花袋『蒲団』と岡田美知代	11 歴史文学と広島	
	4 志賀直哉『清兵衛と瓢箪』『暗夜行路』	一吉川英治『新・平家物語』など	
	5 倉田百三と井伏鱒二	12 映画・大林宣彦『転校生』	
	6 林芙美子『放浪記』『風琴と魚の町』	13 大江健三郎と井上ひさし	
	7 原爆と文学—大田洋子を中心に	14 竹西寛子・大庭みな子・こうの史代	
	8 原爆と映画—『その夜はわすれない』	15 レポート提出	
	『ヒロシマ・モナムール』		
8. 受講料	2,000円		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価 特記事項		
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7月14日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月15日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学文学部 http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。